

石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク設立記念フォーラム

湿地から北海道の未来を考える

石狩川流域には、数十年ほど前まで広大な湿原がありました。
土地の改変等によって、いまではわずかに点在する湿地(湿原・沼・海岸)に
名残をとどめるのみですが、希少生物をはじめとする多様な生き物の貴重な棲み処となっています。
また、かつて湿地とともに生活をしていた先祖や先住民族の文化も、その片鱗が残っているだけです。
しかしながらこの湿地の魅力と可能性は大きく、文化を継承して利活用することで、
地域の活性化などの明るい未来が描けます。
湿地を活かした魅力ある将来の可能性を一緒に考えませんか？

2017年

3月5日(日) 14:00-17:00(開場13:00~)

会場 札幌市社会福祉総合センター 大研修室
(札幌市中央区大通西19丁目1番1号)

参加費
無料
定員120名

1 基調講演(14:05~)

「石狩湿原から湿地と人の未来を考える」



講師 高田雅之氏
(法政大学人間環境学部)

1958年函館市生まれ、宇都宮大学卒・北海道大学修了、北海道庁・環境庁・国立環境研究所・北海道環境科学研究センター(現北海道立総合研究機構)などを経て現在は法政大学人間環境学部にて教鞭をとる。専門は自然環境問題と景観生態学、とりわけ湿原研究とその保全に長年関心を寄せている。近著は「湿地の博物誌」(北海道大学出版会)、日本湿地学会員。

2 オープニングムービー&しめっち大喜利(15:00~)

映像と湿地をテーマにした落語・大喜利で豊かな湿地の魅力を伝えます。登壇者：ネットワーク結成呼びかけ団体の皆さん



司会 MARU氏(こみゅに亭楽時男)

1962年生まれ、札幌市出身。大阪芸術大学卒業。劇団関西芸術座、大阪シナリオ学校を経て富良野塾入塾。脚本家倉本聰氏に師事。以後、札幌で放送作家として活動しながら、STVラジオ「アタックヤング」パーソナリティを務める。日本放送作家協会会員。劇団32口徑主宰。舞台「時間の隙間」は、NHKFMシアターにて全国放送される。現在、radioTxT FMドラマシティ局長。毎週土曜日(17時半~21時半)「MARUの時間」を担当。月刊誌O.toneにてエッセイ「酒とラジオと芝居と女」連載中。

3 ポスター発表(16:00~)

湿地に関わる活動団体、研究成果が勢ぞろい！
湿地に関連する産品・展示品もあります

終了後、懇親会を実施予定(別途、参加費がかかります)

お問い合わせ

NPO法人北海道NPOサポートセンター(札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園201号)

TEL:011-200-0973

FAX:011-200-0974

Email:npo@mb.infosnow.ne.jp

主催:いしかり湿地ネットワーク(仮)準備会 (<http://ishikarigawa-net.com>)

後援(予定):石狩市、環境省、公益財団法人北海道環境財団、札幌市、北海道、北海道開発局札幌開発建設部、北海道新聞社/協力:認定NPO法人日本NPOセンター/協賛:損保ジャパン日本興亜株式会社/ムービー制作:綾 智樹、新妻 達也(株式会社NOTY)



※SAVE JAPAN プロジェクトとは、各地域の環境NPO、各地域のNPO支援センター・日本NPOセンター、損保ジャパン日本興亜の4者が協働して、全国各地で「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。